

| | | | |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | ニットデザイン論 I | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 60% 実習 40% |
| 時間数 | 120 | 作成者 | 佐藤良祐 |

【科目の到達目標】

本科目ではニットの基礎知識を身に付け、自ら企画を立てて時流とニーズに沿った提案ができニットデザインを考える為の基礎能力と感性を身につけることを目標とする。

【科目の概要】

ニットの成り立ちや歴史、産業の構造や機能、糸や編み地、編み機の種類などニット全般の基礎的な知識と技術を幅広く学びそれらを有効に活かした企画力を向上させる。

【授業計画】

| 90分/コマ | 前期 | 後期 |
|--------|------------------------|---------------------------|
| 1,2 | ニットデザイン論概要/プレタ展シャツデザイン | 31,32 企業デザイナーの仕事とクリエイション |
| 3,4 | 糸と編地の関係性/プレタ展シャツデザイン | 33,34 ビジュアルイメージとテキスタイル① |
| 5,6 | ハンドニット基礎知識 | 35,36 ビジュアルイメージとテキスタイル② |
| 7,8 | デザイン演習① | 37,38 ビジュアルイメージとテキスタイル③ |
| 9,10 | 工業用ニット基礎知識 | 39,40 上田学園プレタポルテ展示会企画① |
| 11,12 | デザイン演習② | 41,42 上田学園プレタポルテ展示会企画② |
| 13,14 | ニットアイテムバリエーション | 43,44 上田学園プレタポルテ展示会企画③ |
| 15,16 | デザイン演習③ | 45,46 上田学園プレタポルテ展示会企画プレゼン |
| 17,18 | ニット用素材バリエーション | 47,48 自己分析 ターゲットデザイン① |
| 19,20 | デザイン演習④ | 49,50 自己分析 ターゲットデザイン② |
| 21,22 | 外部コンテスト | 51,52 企業向け企画/就活デザイン |
| 23,24 | 外部コンテスト | 53,54 企業向け企画/就活デザイン |
| 25,26 | 外部コンテスト | 55,56 MD分析デザイン |
| 27,28 | 上田学園コレクションデザイン | 57,58 プレタデザイン・検討会 |
| 29,30 | 前期テスト | 59,60 後期テスト |

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】Sandy Black『ニットウェアinファッション』グラフィック社2003年
Simon Seivewright『ファッションデザイン・リサーチ』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2011年
Rovert Leach『FASHION DESIGN RISOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート オリジナルプリント 画材 棒針 かぎ針

| | | | |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | ニット実習 I | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 30% 実習 70% |
| 時間数 | 120 | 作成者 | 佐藤 良祐 |

【科目の到達目標】

ニット製品の特徴を把握し、クリエイション力を高め、作品製作への総合的な力を付ける。
 ハンドニットでの基礎的な編地の制作方法を学び、マシンニットとの違いを理解する。

【科目の概要】

ニットの構造を理解する為手編みでの作品制作を行いニットの特性を理解する。
 ニットデザインで学んだ基礎知識を元にオリジナルデザインデザインを生み出す技術力を高める。

【授業計画】

| 90分/コマ | 前期 | 90分/コマ | 後期 |
|--------|------------------|--------|-------------------------|
| 1-2 | プレタ展制作 | 31-32 | 丸首ベスト |
| 3-4 | プレタ展制作・編み物について | 33-34 | 丸首ベスト |
| 5-6 | 棒針編みの基本① | 35-36 | 上安祭商品制作 |
| 7-8 | 棒針編みの基本② | 37-38 | 上安祭商品制作 |
| 9-10 | 棒針編みの基本③ | 39-40 | Vネックセーター(上田学園コレクションの作製) |
| 11-12 | 棒針作品の制作(ニットキャップ) | 41-42 | ↓ |
| 13-14 | 鉤針編みの基本① | 43-44 | ↓ |
| 15-16 | 鉤針編みの基本② | 45-46 | ↓ |
| 17-18 | 鉤針モチーフ繋ぎの編み方 | 47-48 | ↓ |
| 19-20 | 丸首ベスト | 49-50 | ↓ |
| 21-22 | 丸首ベスト | 51-52 | ↓ |
| 23-24 | 丸首ベスト | 53-54 | ↓ |
| 25-26 | 丸首ベスト | 55-56 | ↓ |
| 27-28 | 丸首ベスト | 57-58 | ↓ |
| 29-30 | 前期テスト | 59-60 | 後期テスト |

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

日本ヴォーグ社『手編みテキスト スタンダードコース』1989年
 新星出版社『棒針編み困ったときに開く本』2021年

【教材・教具】

編み物道具一式、家庭用横編み機、リンクングマシン

| | | | |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | ニットCAD演習 I | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 35% 実習 65% |
| 時間数 | 120 | 作成者 | 佐藤良祐 |

【科目の到達目標】

編地、編み機、糸、製品づくりなどの、ニットの基礎知識の習得
 島精機ニットデザインシステムSDS-ONE APEXの基礎知識習得
 家庭用横編み機の基礎を学ぶ作品制作に活かす

【科目の概要】

ニットアパレル製品を企画、立案する上で基礎となるニットの基本的な知識と技術
 が理解できる人材の育成を目指す。

【授業計画】

| 90分/コマ | 前期 | 後期 |
|--------|----------------------------------|---|
| 1,2 | ニット基礎 コンピュータニットの概要 家庭用横編み機の概要 | 31,32 前期復習/上安祭作品編み立て 33,34 上安祭の作品 編み立て |
| 3,4 | ニット基礎 ニットの特徴、糸と番手 他 | 35,36 コンピュータニット演習⑥データ作成(ミス柄) |
| 5,6 | コンピュータニット演習①データ作製(メリヤス) | 37,38 コンピュータニット演習⑥編み立て |
| 7,8 | コンピュータニット演習①編み立て | 39,40 コンピュータニット演習⑦データ作成(ジャカード) |
| 9,10 | コンピュータニット演習②データ作成(リンクス) | 41,42 コンピュータニット演習⑦データ作成(ジャカード) |
| 11,12 | コンピュータニット演習②編み立て | 43,44 コンピュータニット演習⑦編み立て |
| 13,14 | コンピュータニット演習③データ作成(ボーダー) | 45,46 コンピュータニット演習⑦編み立て |
| 15,16 | コンピュータニット演習③編み立て | 47,48 コンピュータニット演習⑧データ作成(ジャカード②) |
| 17,18 | コンピュータニット演習④データ作成(畦柄) | 49,50 コンピュータニット演習 作品制作(プルオーバー) |
| 19,20 | コンピュータニット演習④編み立て | 51,52 ↓ |
| 21,22 | コンピュータニット演習⑤データ作成(寄せ柄) | 53,54 ↓ |
| 23,24 | コンピュータニット演習⑤編み立て | 55,56 ↓ |
| 25,26 | 上安祭での作品編地検討 | 57,58 まとめ、総復習 |
| 27,28 | まとめ、復習 | 59,60 後期テスト |
| 29,30 | 前期テスト | |

【成績評価方法】

提出物評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

島精機ニット基礎クラス講習マニュアル
 鈴木美和子・徳田貴美江・山川智子・星野衣津子『ニットの基本』織研新聞社 2011年

【教材・教具】

筆記用具 ノート USBメモリー ファイル

| | | | |
|-----|------------------|------|-------------|
| 科目名 | クリエイションテクニック I | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義20% 実習80% |
| 時間数 | 90 | 作成者 | 酒井知可子 |

【科目の到達目標】

カジュアルウェアの基本アイテムであるシャツ、パンツ(ジーンズ)により作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。また、創作作品ではコースの特色を活かしたカットソーのデザインで効率の良い縫製を考えて製作する。

【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。
企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

| 90分/コマ | | 前期 | 後期 |
|--------|-----------------|----|------------------------------|
| 1 | シャツの製図 | | 31 創作作品(又は上田学園コレクション作品)の製図 |
| 2 | シャツの裁断 | | 32 |
| 3 | シャツの縫製 | | 33 創作作品 カットソーに一部ニットや布帛の組み合わせ |
| 4 | シャツの縫製 | | 34 |
| 5 | シャツの縫製 | | 35 創作作品 裁断 |
| 6 | シャツの縫製 | | 36 |
| 7 | シャツの縫製 | | 37 創作作品 縫製 |
| 8 | シャツの縫製 | | 38 ↓ |
| 9 | シャツの縫製 | | 39 ↓ |
| 10 | シャツの縫製 | | 40 ↓ |
| 11 | シャツの縫製 | | 41 ↓ (上田学園コレクション作品仕上げ) |
| 12 | シャツ完成 | | 42 ↓ |
| 13 | パンツ(ジーンズ)パターン作成 | | 43 ↓ |
| 14 | パンツ(ジーンズ)パターン作成 | | 44 ↓ |
| 15 | パンツ(ジーンズ)の裁断・縫製 | | 45 提出 |
| 16 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 17 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 18 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 19 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 20 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 21 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 22 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 23 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 24 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 25 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 26 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 27 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 28 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 29 | パンツ(ジーンズ)の縫製 | | |
| 30 | パンツ(ジーンズ)完成 | | |

【成績評価方法】

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)

指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

『ブラウス』『パンツ』『ワンピース』上田安子服飾専門学校 最新版

・教員作成のオリジナルプリント

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式

実物または部分縫いの見本

| | | | |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | パターンメイキング I(ニット) | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 20% 実習 80% |
| 時間数 | 120 | 作成者 | 上田安子パターン担当 |

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】

| 90分/コマ | | 前期 | 後期 |
|--------|--------------------------|----|--------------------------------|
| 1 | (1/2)パンツ バギー・ベルボトム | 31 | BEACH WEAR 製図 |
| 2 | (1/2)ペグトップパンツ・フレアーパンツ | 32 | トワール組(中縫いミシン)補正後、工業パターン作り |
| 3 | スラックスパターン作成(自分サイズ) | 33 | (1/2)身頃続きの袖(マチ)三角マチ、ひし形マチ、五角マチ |
| 4 | デザインパンツ 製図 | 34 | (1/2)どれか1型トワール組み |
| 5 | トワール組み(両身) | 35 | スカートのバリエーション |
| 6 | | 36 | |
| 7 | ダーツ操作のバリエーション ウエスト2型 | 37 | トワール組み |
| 8 | センター・ゴージ | 38 | |
| 9 | ショルダー・アームホール | 39 | 工業パターン作成・仕様書作成 |
| 10 | 襟のバリエーション スタンドカラー2種 | 40 | |
| 11 | シャツ・台襟シャツ | 41 | 身幅の移動OP増量→JK、COへ |
| 12 | フラットカラー・ステンカラー | 42 | キモノ袖原型→カット無しへ(2型トワール検討) |
| 13 | 袖のバリエーション 谷1/3・3/1-1.5 | 43 | メンズシャツ 製図 |
| 14 | 谷1/3-5 トワール組み | 44 | パーツパターン抜き出し |
| 15 | タック・フレアー・ランタン | 45 | トワール組み |
| 16 | ペタル・ジゴ | 46 | |
| 17 | BLOUSE 製図 | 47 | 子供服 原型、子供ワンピース |
| 18 | | 48 | トワール組み |
| 19 | トワール組み | 49 | ジーンズ 製図 |
| 20 | | 50 | パーツパターン抜き出し |
| 21 | 創作ブラウス 製図 | 51 | トワール組み |
| 22 | | 52 | |
| 23 | 上記の中からダーツ操作身頃+襟+袖1体トワール組 | 53 | 工業パターン作成・仕様書作成 |
| 24 | | 54 | |
| 25 | 工業パターン、仕様書作成 | 55 | マウンテンパーカー |
| 26 | | 56 | |
| 27 | Tシャツ 製図 | 57 | トワール組み |
| 28 | 縫い代付きパターン・仕様書作成 | 58 | |
| 29 | まとめ | 59 | まとめ |
| 30 | | 60 | |

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』
山路俊美『メンズ製図集抜粋』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具、製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ
トワール、シルクピン、ミシン用具、鋏

| | | | |
|-----|------------------|------|-----------------|
| | ドレーピング I | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 20 % 実習 80 % |
| 時間数 | 60 | 作成者 | 上田安子パターン担当 |

【科目の到達目標】

ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。

【科目の概要】

立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。

【授業計画】

| 90分/コマ | 前期 |
|--------|--------------------------------|
| 1、2 | 「ドレーピング概論」 ・ボディ、トワールの扱い方の講義 |
| 3、4 | ショルダーカット(ダーツ) |
| 5、6 | アームホールカット(ダーツ) |
| 7、8 | サイドカット(ダーツ) |
| 9、10 | ウエストカット(ダーツ) |
| 11 | ステンカラー カットで作った身頃を使用 |
| 12 | ピーターパンカラー カットで作った身頃を使用 |
| 13 | 台襟付きシャツカラー カットで作った身頃を使用 |
| 14 | 開襟シャツカラー カットで作った身頃を使用 |
| 15、16 | 身頃の復習(ダーツ) |
| 17、18 | ブラウス シャツカラー(ショルダー切替) |
| 19、20 | シャツカラー(上記のジャケット) |
| 21、22 | 一枚袖(上記のジャケット) |
| 23 | タイトスカート |
| 24 | タイトスカートのパターンどり |
| 25、26 | フレアースカートの製作 |
| 27、28 | まとめ |
| 29、30 | 後期試験 |

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%

【教科書・参考書】

オリジナルプリント

【教材・教具】

トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル

| | | | |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | コンピュータ演習 II | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 通年 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 20% 実習 80% |
| 時間数 | 60 | 作成者 | 林 和子 |

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

| 90分/コマ | | 前期 | 後期 | |
|--------|--|-------------------------------|--------------------|------------------|
| 1 | 自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理) | 16 | 前期ニット編地まとめ ポートフォリオ | |
| 2 | ” ロゴマーク作成 | 17 | 構成 | |
| 3 | ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果) | 18 | デザイン出し | |
| 4 | スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する) | 19 | ハンガーイラスト | |
| 5 | レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成 | 20 | まとめポートフォリオ完成 ↓ | |
| 6 | ハンガーイラストの描き方Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック | 21 | プレタ企画マップ作成 | |
| 7 | デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着色する | 22 | プレタ企画マップ作成 | |
| 8 | Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトしポートフォリオを完成する | 23 | 企業提案用ポートフォリオ作成 | |
| 9 | CAD | タイトスカート パターン作成(Pattern Magic) | 24 | 構成 |
| 10 | | ハンガーイラスト作成(縫製仕様書) | 25 | デザイン出し |
| 11 | | タイトスカート2本ダーツ製図 | 26 | ハンガーイラスト |
| 12 | | 表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成 | 27 | 企業提案用ポートフォリオ完成 ↓ |
| 13 | | マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成 | 28 | 企業見学レポート |
| 14 | まとめ | 29 | 企業見学レポート | |
| 15 | テスト | 30 | テスト | |

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

コンピュータ演習*アパレルCAD*

【教材・教具】

プリントやPDF等で配布 メモリフラッシュ 筆記用具

| | | | |
|--|------------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションビジネス論II | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 前期 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 80% 実技 20% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 三谷 和也 |
| 【科目の到達目標】 ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。 | | | |
| 【科目の概要】 ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える。 アパレル業界のしくみの本質を理解し、今の時代にあったビジネス感を養う。 | | | |
| 【授業計画】 90分/コマ 1 アパレルにおける仕事の流れ。 2 機能素材の話。機能ウエアの話実習 3 テキスタイル産地の現状 4 原料メーカー、専門商社、産地(デニムの知識) 5 5大コレクションと観察カトレーニング 6 機能素材の話。機能ウエアの話実習 7 日本のファッション史と観察力 8 繊維関係各社の仕事内容 (学生面談) 9 VMDの話 A4に実習 10 コロナ禍置けるブランド戦略(注目会社) 11 ブランド作成、ブレインストーミング 12 店舗開発についての話とパースの考え方。 13 これからのファッションにおけるブランドビジネスについての講義 14 即戦力として知っておきたい計数についての講義 15 テスト 筆記試験 | | | |
| 【成績評価方法】 ・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 20% ・ 期末試験 40% | | | |
| 【教科書・参考書】 ・ 織研新聞 ・ WWD ・ ファッション蘊蓄辞典 (アポロ出版) | | | |
| 【教材・教具】 ノート ・ 筆記用具 | | | |

| | | | |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | ファッションドローイングⅡ | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 前期 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 30% 実習 70% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 松岡葵 |

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 ヌードボディの表現
- 2 ヌードボディの表現
- 3 顔、ヘアスタイル表現
- 4 着装表現①（ニット素材と布帛素材表現）
- 5 着装表現②（ニット素材と布帛素材表現）
- 6 着装表現③（装飾、小物表現）
- 7 着色表現①（その他応用表現）
- 8 着色表現②（その他応用表現）
- 9 着色表現③（その他応用表現）
- 10 アイテム画表現
- 11 デザイン画選手権の作品制作（ラフ）
- 12 デザイン画選手権の作品制作（下絵）
- 13 デザイン画選手権の作品制作（着色）
- 14 デザイン画選手権の作品制作（着色）
- 15 前期末テスト

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

| | | | |
|-----|------------------|------|---------|
| 科目名 | 服飾素材論Ⅱ | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 前期 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 100% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 河本 育子 |

【科目の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【科目の概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
 繊維・糸・布地
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 レース
 布地まとめ
- 7 ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方
- 8 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 9 天然繊維(動物繊維)
- 10 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 11 化学繊維(合成繊維)
- 12 ■繊維の機能性
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 まとめ(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト50%(期末試験40%, 小テスト 10%) 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一、『生地の事典』,株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

- ・筆記用具

| | | | |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | 服飾史 | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 前期 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 90% 実習 10% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 杉山佳美 |

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 90分/コマ | 前期 |
| 1 | ガイダンス 【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化 |
| 2 | 古代ローマ～ビザンチン時代 |
| 3 | ルネサンスの始まり |
| 4 | バロック時代:エリザベス I 世 |
| 5 | ロココ時代:マリーアントワネット:革命と失脚 |
| 6 | ナポレオンの登場と19世紀ドレスの変容 |
| 7 | 復習・小テスト |
| 8 | オートクチュールの始まり ウォルト・ポールポワレ・シャネル |
| 9 | 19～20世紀 フランス:オートクチュールからプレタポルテ |
| 10 | 19～20世紀 イタリア:GUCCIとハイブランドの変遷 |
| 11 | 19～20世紀 ロンドン:パンクムーブメント |
| 12 | 19～20世紀 アメリカ:ストリートとカウンターカルチャー |
| 13 | 20世紀 日本国内のトレンド:DCブランド～KAWAIIカルチャー |
| 14 | まとめ・復習 |
| 15 | テスト |

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教科書「西洋服飾史」

| | | | |
|-----|------------------|------|---------------|
| 科目名 | キャリアデザイン | 整理番号 | |
| 学科 | ファッションクリエイター学科 | 期 | 後期 |
| コース | ニットファッションデザインコース | | 昼間 |
| 学年 | 2年 | 授業形態 | 講義 80% 実習 20% |
| 時間数 | 30 | 作成者 | 大槻 剛 |

【科目の到達目標】

クリエイター学科が目指す卒業後の進路・就職先の獲得と卒業後のスキルアップの方法を修得。

【科目の概要】

アパレル業界を中心とした川上・川中・川下の理解と社会人としての基本マナーの習得、就職活動の方法や面接、グループディスカッションの技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 就職先となる業界の現状把握(A先生)
- 2 就職活動までに準備すべき内容(B先生)
- 3 ポートフォリオの制作方法(B先生)
- 4 企業分析の方法と対策(C先生)
- 5 インターンシップの活用方法(C先生)
- 6 エントリーシートの記入方法(C先生)
- 7 自己PRと志望動機のポイント(C先生)
- 8 個別面接対策(C先生)
- 9 グループディスカッション(C先生)
- 10 卒業後のスキルアップ(C先生)
- 11 社会人マナー①(D先生)
- 12 社会人マナー②(D先生)
- 13 社会人マナー③(D先生)
- 14 社会人マナー④(D先生)
- 15 キャリアサポートセンターの活用方法(A先生)

【成績評価方法】

提出物評価90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

「キャリアテキスト」株式会社パーソナルヴィジョン研究所

【教材・教具】

筆記用具、参考プリント